

第三次計画における関連施設を対象とした取組状況

資料1-4

※狛江市の各施設(小・中学校、公立保育園、児童センター・児童館、学童保育所、子ども家庭支援センター、各地域センター・公民館)において、第三次狛江市子ども読書活動推進計画に掲げる取組みの達成状況を【できている / どちらともいえない / できていない】の三段階で調査した。

計画の内容	取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	取組みの達成状況 (回答施設数)			主な対象施設 (図書館を除く)		
			できている	どちらともいえない	できていない			
1 乳幼児期の読書活動推進	③各施設による取組み	乳幼児関連のイベントを開催し、地域交流の機会がもてるよう努めます。	ア. 地域のおはなしグループによるおはなし会などを積極的にを行います。	6	1	2	児童センター・児童館 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館	
			イ. 乳幼児の保護者を対象とした講座や講演会を企画します。	1	1	7		
		④保育園における読書活動の充実	乳幼児が日々の生活の中で本に親しむために、保育園における読書活動の充実を図ります。	ア. 乳幼児の発達に適した蔵書の充実に努めます。	1	2		保育園
				イ. 図書館の団体貸出を活用します。	4			
				ウ. 保育士は、日常の保育の中で継続して読み聞かせを行います。	4			
	エ. 地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし会を企画します。		1	3				
	オ. 地域交流(地域の未就学児とその保護者を対象にした行事)において、積極的に乳幼児が本に触れる機会を設けます。		2	2				
	(2)乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	③各施設における読書活動の広報	各関連施設における絵本の読み聞かせ等の読書活動について、保護者の目に留まるような広報に努めます。	ア. 狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てねっ」とを活用します。		1	7	児童センター・児童館 各地域センター 公民館
				イ. 各施設のイベント情報案内等で広報を行います。	6		2	
		④保育園における図書 の充実と保育士の研修	乳幼児が身近なところで本と親しむために、図書の充実を図り、職員の研修を行います。	ア. 計画的に図書の充実を図ることに努めます。	1	3		保育園
イ. 図書館の団体貸出や配本サービスを活用します。				4				
ウ. 保育士同士の情報交換や研修の機会を設けます。				1	2	1		
2 小・中学生の読書活動推進	(1)小・中学生の読書活動	①児童・生徒の読書活動のさらなる展開 各学校の特色に応じた読書活動の充実と展開を図ります。	ア. 「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用します。	7	3		小・中学校	
			イ. 児童・生徒が読書する時間の確保に努め、一冊を読み通す達成感を体験させるための読書イベント等を企画実施します。	9	1			
			ウ. 児童・生徒の興味関心や発達段階に応じて、自ら本を選び読書の幅を広げるための展示や掲示を工夫します。	10				

			エ. 自ら友達や同世代に向けて読書の楽しさを発信する活動を通じ、児童・生徒同士が交流できるよう取り組みます。	10			
			オ. 委員会活動では、校内において学校図書館が身近な学びの場であることが伝わる活動に取組みます。	9		1	
	②資料を使った課題解決の支援	児童・生徒が楽しく読書するだけでなく、各教科・領域や総合的な学習の時間に活用できる学校図書館を目指します。	ア. 児童・生徒が課題を解決するための手助けとなるような資料を揃え、資料の使い方など、必要な指導や助言を行います。	10			小・中学校
			イ. 学校の夏季休業期間中の宿題や自由研究を支援します。	10			
	④児童館・学童保育所における読書活動の推進	小・中学生が身近なところで本と親しむために、児童館・学童保育所での読書活動の充実を図ります。	ア. 児童館・学童保育所では、職員等による読み聞かせの時間を もつとともに、地域のおはなしグループによるおはなし会を企画します。	2		3	3
			イ. 図書館の団体貸出を活用します。	1		3	4
(2)小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	①学校図書館の蔵書構成及び更新	児童・生徒が身近な場所で本と親しむとともに、各教科・領域や総合的な学習の時間に利用しやすい蔵書構成を目指した蔵書の充実と更新を図ります。	ア. 児童・生徒の読書意欲をかきたてる資料を揃えるため、資料の購入費を確保し、計画的な購入に努めます。	10			
			イ. 各教科や総合的な学習の時間に利用するための資料の選択・収集に努めます。	10			
			ウ. 学級文庫用図書の充実に努めます。	7		2	1
			エ. 不必要になった資料の定期的な払い出しや除籍を行い、蔵書の更新・補充に努めます。また、そのための除籍の基準を検討します。	10			
	②学校図書館システムの運用	学校図書館システムの運用により、貸出・返却・予約・統計・蔵書点検等の業務を円滑に行います。	ア. 学校司書や司書教諭への操作研修を実施します。	3		6	1
			イ. 学校図書館の運営に各種統計を参照するため、分類等の共通化に努めます。	9		1	
	③学校図書館設備の充実	学校図書館が、児童・生徒にとって安全で親しみやすく心の居場所であるとともに、学習や読書活動に役立つ環境整備を図ります。	ア. 児童・生徒の利用動線に配慮し、書架配置や案内表示の見直しを行います。	10			
			イ. 空間の確保、椅子・本棚等の不足や老朽化への対応に努めます。	7		3	
			ウ. 児童への読み聞かせスペース、生徒が集中して学習できる机の配置等の工夫に努めます。	8		2	
			エ. 児童・生徒が自ら蔵書を検索できるOPAC端末等の設置を検討します。	1			9
	④学校図書館連絡協議会の開催、研修の実施	学校図書館の運営には、利用指導計画を立案し実践する司書教諭と、それをサポートする学校司書の連絡調整が欠かせません。司書教諭の資質と能力の向上に取組み、専門的な知識・経験を深めるための実務研修を行います。また、校長は司書教諭や学校司書と協力し、学校図書館の業務が円滑に行われるよう努めます。	ア. 校内に学校図書館活用委員会を設置し、学校全体で学校図書館を活用します。	4		2	4
			イ. 学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭が身につけるための研修の機会をつくります。	2		2	6
			ウ. 小・中学校の司書教諭と学校司書が、連携を図るための合同連絡協議会を開催します。	8		1	1
			エ. 学校図書館の校内運営及び学校間の連携のあり方について協議し、共有ガイドラインを作成します。	1		4	4

	⑤学校図書館と市立図書館の情報共有	小・中学生の読書活動の推進を図るため、学校図書館と市立図書館は情報を共有します。また、学校図書館の運営が円滑に行われるよう、学校図書館及び図書館との連絡体制を整備するとともに実務に必要な研修を実施します。	ア. 学校図書館連絡協議会へ図書館職員が参加し、情報共有を行います。	4	3	3	小・中学校
			イ. 小・中学校の学校司書と図書館職員が、連携を図るための学校司書・図書館司書連絡会を開催します。	5	2	2	
			ウ. 図書館ホームページ上の掲示板を、各学校図書館及び図書館との情報共有に活用します。	2	3	5	
			エ. 業務を円滑に行うための、学校図書館実務マニュアルの作成をします。	2	4	4	
			オ. 業務を行うために必要なことを学べるような実務研修を実施します。	1	2	6	
	⑩東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた読書活動の支援	東京都が推進する「東京オリンピック・パラリンピック教育」に基づく読書活動を支援します。	ア. オリンピック・パラリンピックを理解するための資料の充実を努めます。	10			小・中学校
			イ. 異文化を理解するための資料の充実を図ります。	10			
			ウ. 日本の伝統文化が理解できる資料の充実を図ります。	10			
	⑪全ての児童・生徒とその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする児童・生徒とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	ア. 学校図書館では、読書補助用具を備え、読みへの抵抗を和らげる手立てを考えます。	4	2	4	小・中学校
			イ. 学校図書館では、館内掲示を大きくし、手順をわかりやすく表示するためビクトグラムを添えるなど、文字だけに頼らない工夫をします。	4	4	2	
			ウ. 学校図書館では、特別支援学級(固定学級)の読書活動を支援する取組みに努めます。	3	5	1	
	4地域における読書活動推進	(3)子どもの読書に関する読書活動の実施	子どもの読書活動に関する市民の要望に応えた講座や講演会を実施します。	ア. 中央公民館では、「子どもの広場」などで図書館と協力して、積極的におはなし会に参加します。			1
イ. 図書館では、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携し、市民の要望に応えた講座・講演会を実施します。					2	3	各地域センター 公民館
(4)図書関連施設職員の情報共有			ア. 地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本を充実するとともに、地域での取組みについて情報を共有します。	4	1		各地域センター 公民館

●その他、各施設より挙げられた子どもの読書活動の推進に対する課題・問題点等(自由記述)

- ・子どもの絵本購入のための予算が少額。廃棄図書をクラスに置いている。ありがたいことではあるが、選べる環境ではない。(保育園)
- ・図書の充実については、毎年の絵本購入のための予算が足りないため、引き続き配本サービスを活用したり、予算増額について課と相談させていきたい。(保育園)
- ・図書についての情報交換は常に行っているが、研修については日中はなかなか参加させられる体制が取りにくい現状がある。(保育園)
- ・予算に限りがあるため、十分に本を購入することができない。(児童センター)
- ・子どもたちが本を読みたいと、より本に興味をもってもらうにはどう取り組めばよいのか悩んでいる。(児童センター)
- ・児童が各自好きな本を好きな時間に読んでいるため読み聞かせの時間は作っていない。(学童保育所)
- ・進められる本などがあったら進めたり紹介する時間を作っていきたい。(学童保育所)
- ・団体貸出しの取り組みを引き続きお願いしていただけるとありがたいです。(学童保育所)

- ・中・高学年が好む本がほとんどない。予算では足りない。貸出でも足りない、量が多くなり管理が難しい。(学童保育所)
- ・不要な中・高学年向きの本を優先でいただけるとありがたいと思っております。(学童保育所)
- ・廃棄図書を優先的に譲っていただきありがとうございます。本を購入する予算がないため助かっています。(学童保育所)
- ・週一回水曜日閉館しているので、クラス数の多い本校では図書室の割り当てで司書さんと連携できないクラスが出てしまう。クラス数など学校規模を考慮した司書さんの勤務体制を整えてほしいです。(学校)
- ・学校図書館活用ノート本の森を学年と協同で学習の中に更に活かすことが出来るよう工夫が必要だと思えます。(学校)
- ・2(2)④イ・エ、⑤イ・エ等、市内学校司書共通の研修の場やマニュアルガイドラインが無いため、各校蔵書、廃棄基準等かなりのバラつきが予想されます。(学校)
- ・各学校図書館の運営が個人の資質や努力に負っている部分が多いと感じています。(学校)
- ・特別支援学級の児童を含め、読書が苦手な児童に対して細やかな支援を行いたいが、時間やマンパワーが伴わない。(学校)
- ・特別支援学級の担当教員と司書の間で連携をとれるよう、連絡会など持ちたいが難しい。(学校)
- ・小学校高学年～中学生・高校生の利用が少ないので、利用を増やしたいなと思えます。(地域センター)
- ・年に一度図書室の本を利用しながら夏休み子ども教室を開催しています。季節の行事の本や乳幼児向けの本のコーナーで積極的に展示もしています。おはなし会・講座等は、本図書室は狭く、また定期的にセンターの部屋を確保するのは難しい状況で開催していません。(地域センター)
- ・落ちついて読書するスペースを設けることがむずかしい。中高生の利用がとても少ない。(地域センター)